

<第12回政策討論会資料>

事例から見た中津川恵那地域の現状

平成20年3月25日

岐阜県の将来構想研究会

研究員：長沼 正信

※本レポートは、「岐阜県の将来構想研究会」の研究の途中経過として、現状認識と考え得る方向性をまとめたものであり、県としての公式な考え方を示したものではありません。

中津川恵那地域における次の課題に対しその現状を探った

- 1 地歌舞伎の伝承に係る現状と課題
- 2 中津川市と木曾地域の県際交流

1 地歌舞伎の伝承に係る現状と課題

日本三大地歌舞伎の地

岐阜県は日本三大地歌舞伎の地として、現在も多くの保存会が活動を行っている。県内には27の歌舞伎保存会があるとされており、その内の半数の14が中津川市（6）及び恵那市（8）で活動を続けている。

◆三大地歌舞伎とは

- 1 神奈川県・相模地方の相模歌舞伎
- 2 岐阜県・美濃地方の美濃歌舞伎
- 3 兵庫県・播磨地方の播州歌舞伎



相生座HPより

全国の芝居小屋の約16%を占める 岐阜県

◆常設の舞台

岐阜県 270棟以上(※1)
全 国 1,774棟(※2)

約4割が東濃地域に集中

※1 『岐阜県の農村舞台 昭和46年度岐阜県農村舞台緊急調査報告』(岐阜県教育委員会 昭和47年3月発刊)によれば、常設の歌舞伎舞台は、現存舞台～139棟、廃絶舞台～105棟、合計244棟が確認されており、調査アンケートのみによって判明した棟数を加えると270棟以上となると記されている。

※2 『農村舞台の総合的研究』(角田一郎著 昭和46年桜楓社発刊)によれば、全国の状況は、現存舞台～1338棟、廃絶舞台～436棟、合計1774棟(S45.8.1現在)と記されている。

◆主な県内の芝居小屋

常盤座、明治座、蛭子座(以上中津川市)、五毛座(恵那市)、相生座(瑞浪市)
村国座(各務原市)、白雲座、鳳凰座(以上下呂市)、東座(白川町)



常盤座(中津川市) 県図書館世界分布図センターHP



明治座(中津川市) 県図書館世界分布図センターHP



蛭子座(中津川市) 中津川市観光協会HP



五毛座(恵那市) 県恵那農林事務所HP

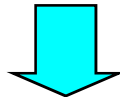
地 歌 舞 伎

◆吉田茂美氏(東濃歌舞伎保存会事務局長)によれば、

農村舞台は産土神(うぶすながみ)の神社の境内に建築され、その土地の人達が毎年祭礼に地芝居を奉納したり旅役者一座や人形浄瑠璃芝居一座を迎えて興行を行った。

※ 産土神～生まれた土地を守護する神。近世以降、氏神・鎮守の神と同一視常設の歌舞伎舞台

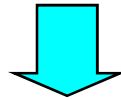
江戸時代	自然村単位で村人自らが地芝居を奉納
明治時代	自然村単位の区域が幾分拡大されるが同様に奉納
昭和期	奉納芝居は次第に減少
昭和30年代	自然村単位では芝居が出来ないほど役者人口が激減



宗教的儀式的意味合いが多かった時代は、手間と時間が掛かるが「地芝居」は年に一度行う**村の大切な行事の一つ**であったが、産土神の祭礼に奉納するという立場から離れ、**娯楽**の意味合いが始まった頃から手間と時間が掛かる「地芝居」は、**嗜好の多様化**とともに次第に**衰退の道を進んだ**と考えられている。

東濃歌舞伎保存会の発足

昭和30年代に入ると、地芝居の宝庫といわれる東濃地方でも役者人口は激減し、公演回数は少なくなり、使用されなくなった芝居小屋は荒れ放題となり、地芝居自体が途絶えてしまうかに思われた。



この状態を危惧した人達によって昭和39年『東濃歌舞伎保存会』が結成される。

恵南支部、恵那支部、中津川支部、恵北支部の4支部で構成され、現在は、15保存会が所属し活動

◆東濃歌舞伎保存大会

- 昭和40年11月に4支部から16芸題による歌舞伎大会を開催
- その後も各支部持ち回りで毎年開催
- 昭和59年からは、出演団体の減少、資金難から3年に一度の開催
- 平成12年からは、毎年開催(平成19年で第33回を数える)

平成に入り、一時途絶えていた保存会の復活などにともない、各地で活動が活発化し、平成12年「ウエルカム21ぎふ」での『東濃カブキまつり2000・食と器の祭典2000(5/26～28の3日間)』での「東濃の地歌舞伎揃い踏み」の成功を契機に、それ以降は毎年12月第2日曜日に歌舞伎保存大会を開催

◆東濃歌舞伎保存会所属団体の活動状況

	名 称	所在地	公演会の状況	公演会場
1	加子母歌舞伎保存会	中津川市	9月上旬 日曜日	明治座
2	常盤座歌舞伎保存会	同	3月中旬 日曜日	常盤座
3	坂下歌舞伎保存会	同	11月 第2日曜日	坂下町農村環境改善センター
4	蛭川歌舞伎保存会	同	10月 第3日曜日	蛭子座
5	東濃歌舞伎中津川保存会	同	3月 第1日曜日	東美濃ふれあいセンター歌舞伎ホール
6	飯地五毛座歌舞伎保存会	恵那市	隔年4月 第2日曜日	五毛座
7	恵那歌舞伎保存会	同	2月 最終日曜日	恵那文化センター
8	東野歌舞伎保存会	同	10月 最終日曜日	東野小学校体育館
9	三郷歌舞伎保存会	同	不定期	三郷公民館
10	安岐歌舞伎保存会	中津川市	不定期	中の島ふれあいセンター
11	山岡町歌舞伎保存会	恵那市	12月 第1日曜日	山岡農村環境改善センター
12	明智町歌舞伎保存会	同	5月 最終日曜日	明智かえでホール
13	上矢作歌舞伎保存会	同	隔年11月上旬	上矢作公民館
14	串原歌舞伎保存会	同	11月 第3日曜日	サンホールくしはら
15	東座芸能保存会	白川町	4月 第4日曜日	東座
東濃歌舞伎保存会大会			12月 第2日曜日	東美濃ふれあいセンター歌舞伎ホール

地歌舞伎の現状

東濃歌舞伎保存会所属の15保存会に対し、設立年、保存会会員の構成、活動資金、活動していく上での課題等に対してアンケート調査を実施し9団体から回答が寄せられた。

また、東濃歌舞伎保存会で中心的に活動している吉田茂美氏(東濃歌舞伎保存会事務局長)や、市川尚樹氏(東濃歌舞伎中津川保存会会長)に現状や今後の課題について話を伺った。

◆保存会の設立(アンケート調査)

名 称	設立年	公・民※
東濃歌舞伎中津川保存会	S56	民
飯地五毛座歌舞伎保存会	S30	民
恵那歌舞伎保存会	H11	民
東野歌舞伎保存会	H3	民
三郷歌舞伎保存会	S49	民
山岡町歌舞伎保存会	H7	公
明智町歌舞伎保存会	S58	民
上矢作歌舞伎保存会	H13	民
串原歌舞伎保存会	S47	民

※公・民 「公」～保存会復活が行政主導で設立
「民」～間・住民主導で設立

多くの保存会は住民主導で設立されている。

契機としては、

- 文化センターの建設を契機に公演を行い
その後の活動を継続
- 他の保存会からの誘いにより公演を行い
その後の活動を継続
- 愛好家が活動を始めその後の活動を継続

など

◆保存会員の構成(アンケート調査)

会員の構成を見ると、10代～21.0%、50代～21.4%、60代～19.2%となっており50代以降の会員が約半数を占めている。10代を除いた構成を見ると50代以降の会員が約6割を占め、彼らが活動の中心となっている。

10代のうち約9割は小中学生が占めているが、高校生や20代の会員は少なく子ども会員の定着率は低い。

単位:人

名 称	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70～	計
東濃歌舞伎中津川保存会	14	10	15	20	20	20	1	100
飯地五毛座歌舞伎保存会	6	5	5	5	2	1	2	26
恵那歌舞伎保存会				1	7	4	2	14
東野歌舞伎保存会	地区住民を会員としている							
三郷歌舞伎保存会	18			6	8	5	2	39
山岡町歌舞伎保存会	13	1	2		1	6	3	26
明智町歌舞伎保存会	6	1			3	7	2	19
上矢作歌舞伎保存会			3	3	8	8	5	27
串原歌舞伎保存会		4	3	3	9	1		20
計	57	21	28	38	58	52	17	271
構 成 (%)	21.0	7.7	10.3	14.0	21.4	19.2	6.3	100
構 成(10代除く) (%)	—	9.8	13.1	17.8	27.1	24.3	7.9	100

◆活動資金の状況(アンケート調査)

地歌舞伎公演は、会費、公演にあたっての祝儀や企業等の協賛金その他、**公的機関**(公共団体や文化関係の財団等)からの**助成金等を活動資金としているところが多い。**

名 称	
東濃歌舞伎中津川保存会	助成金、広告協賛、祝儀、チケット代金
飯地五毛座歌舞伎保存会	祝儀、助成金
恵那歌舞伎保存会	会費、祝儀、助成金
東野歌舞伎保存会	協力金、協賛金、祝儀
三郷歌舞伎保存会	会費、祝儀、補助金、助成金
山岡町歌舞伎保存会	助成金、協力金
明智町歌舞伎保存会	会費、寄付金、協賛金、助成金
上矢作歌舞伎保存会	会費、祝儀、協力金、補助金、助成金
串原歌舞伎保存会	寄付金、補助金

地歌舞伎の伝承に係る課題

◆活動していく上での課題(アンケート調査及び意見聴取)

各団体ともに、役者や活動費金の確保に苦労しながら活動を継続している。特に活動資金のうち公共団体の助成に多くを頼っている保存会にあっては、市町村合併により各種の補助金が減額されるなか、当該活動に対する補助金も例外とはならず、年々減少されることに危機感を募らせている(1回の公演には150~200万円が必要)。

資金面での課題

- 資金不足で保存会運営が困難
- 公演資金が毎年不足
- 活動資金を確保することが課題
- 合併前は村からの補助金で活動していたが、合併後、補助金が年々減額となり住民からの寄付金で活動。住民からの寄付金には限界があり今後の公演開催が不安
- 資金の出所がない
- 公演資金の調達が困難
- 神社の祭りとして行っていた時は氏子等の寄付で行えたが、現在、神社の祭りとして歌舞伎を行っているところはなく、資金の面で困難となることが予想される
- 市町村合併により各種の補助金が削減されており行政支援で行ってきたところは不安ではないか

人的な課題

- 指導者の高齢化
- 将来的には、振付師等がいなくなる
- 保存会入会希望者が無く、役者不足で大人の公演が出来ない
- 若手の育成が急務
- 小学生の加入と親の理解が必要
- 高校卒業後に地元から流出してしまう
- 役者が不足
- 会員が高齢化し、若者の育成が必要
- 高齢化にともない役者選びに苦労する
- 役者が不足し、公演のたびに役者探しに苦労する
- 小学校(5~6年)で歌舞伎に取り組んでいるが、中学以降も継続して歌舞伎を行う生徒が無く、保存会にも入会しないため会員が減少傾向にある
- 仕事が多忙で役者になる人が殆どいない
- 保存会員の高齢化、新会員の確保が困難
- 小学校や子ども歌舞伎として行っているところも有るが、進学するにつれ歌舞伎から離れていき、大人になっても継続して行っていくことは難しい
- 振付師が公演全体の指導を行っている。昔は年配者が後輩に伝授していたが、現在は振付師が全体を指導している。昔どさ回りで役者をやっていた人が振付師として戦後行ってきた。現在は、どさ回りの旅役者がいなく、将来的に振付師がいなくなるのではないか

その他意見

- 高齢者のボケ対策として老人クラブ等に頭と心の運動をすべき
- 公的機関の助成金が年々減額されているが、伝統文化の継承と心の教育はお金ではない（お金には変えられない）ので理解・協力されたい
- 公的助成の充実を望む
- 活動拠点の損傷がひどく、修理等を行わないと公演実施が不可能となる
- 活動助成、活動拠点への支援を行政に望む
- 現在の技術のデータベース化（ビデオ、舞台図面）や、昔のような年配者が後輩に伝授するシステムの構築など、振付師がいなくなったときにも歌舞伎が行えるシステムを構築していく必要がある
- 東濃歌舞伎保存大会の開催は、各保存会の励みになる。自前で行えない保存会も少ない負担金で公演を行うことができる。また、外から人が見に来てくれる。親類縁者だけではなく、外から見に来てもらえることによって、更に活動の励みとなる
- 住民の理解を得ていくことが重要であり、その為に行政の力添えが必要
- 安易な助成金は止めるべき

浮き彫りとなった課題

1 活動資金

自己資金で活動を行っているところは少なく、寄付金、協賛金、助成金に頼っているところが多い。公的な助成金が年々減少していることに危機感を持つ団体もあり、資金面で今後の保存会活動が継続できるかが懸念される。

2 役者不足

公演の際の役者集めに困っている保存会が多くあり、また、活動の中心が50代以降の人々によって行われていることから、高齢化の進展に伴い保存会の存続に危機感を持っている。

3 技術の伝承

3名の振付師が県内で活躍されているが、その後継者となると課題が残るようであり、技術を伝承するシステムを構築する必要がある。

地歌舞伎の伝承に係る検討

◆芸能としての地歌舞伎を伝承していくためには

1 安定した活動資金を確保(提供)するシステム

(但し、安易な助成は止めるべきとの意見も一部に有り)

2 現在の技術のデータベース化などを行い、特定の人(振付師のみ)に頼らないシステム

を構築し、

3 保存会会員(役者)の確保

を図る

そして、芸能として役者が演じる公演を提供する場「〇〇歌舞伎大会」を将来に亘り設けていく必要がある

2 中津川市と木曾地域との県際交流

国道19号（旧中山道）で結ばれる中津川市と長野県木曾地域は、日常生活を送るうえで必要となる買い物、病院への通院、就業、就学などで深い関わりを持っている。

特に国道19号沿線上にある**南木曾町、大桑村**については多くの住民が中津川地域で買い物や通院を行うなど**中津川を生活圏**としていることがうかがえる。

また、馬籠宿（中津川市）と妻籠宿（南木曾町）の世界遺産暫定一覧表記載資産へ向けて共同した取組を進めるなど、**地域振興、基盤整備、観光振興**などの面で、**県境を跨いだ行政や民間の取組**が多く行われている。

経済界（商工会議所）としては、リニア中央新幹線の早期建設と東濃東部への停車駅設置の促進を図るため、中津川・恵那・飛騨地域の商工会議所・商工会、木曾地域の商工会による「**東濃東部リニア停車駅誘致期成同盟会**」が活動を進めているが、現在、**他に連携した活動はみられない。**

木曾地域の団体の状況

◆人口

	人口(H17国調)
南木曾町	5,238人
大桑村	4,457人
上松町	5,770人
木曾町	13,900人
王滝村	1,097人
木祖村	3,361人
中津川市	84,080人
塩尻市	68,346人

長野県木曾地方事務所HPより



◆木曾地域から中津川市、塩尻市までの距離等の比較

	中津川市までの距離等		塩尻市までの距離等	
	距離	時間(車)	距離	時間(車)
南木曾町	約22km	約33分	約66km	約99分
大桑村	約33km	約50分	約55km	約83分
上松町	約48km	約72分	約50km	約75分
木曾町	約55km	約83分	約43km	約65分
王滝村	約69km	約104分	約63km	約95分
木祖村	約70km	約105分	約28km	約42分

上松町が中津川市と塩尻市の間地点に位置する



生活圏としてのつながり

長野県木曾南部地域は、人の移動を見ると、就業、就学、買い物、病院などの日常生活において中津川地域と深い関わりを持っている。

※就学～両県教育委員会の協定により、岐阜県からは旧中津川市、旧坂下町、旧付知町の中学の生徒が長野県の一部の高校(学科)へ、長野県からは南木曾町、大桑村の中学の生徒が岐阜県の一部の高校(学科)へ通学することが可能となっている。

◆昼間流入・流出人口(中津川市)

平成17年国勢調査

	流入人口 ①			流出人口 ②			①-②		
	総数	15歳以上 就業者	15歳以上 通学者	総数	15歳以上 就業者	15歳以上 通学者	総数	15歳以上 就業者	15歳以上 通学者
長野県	725	682	43	554	491	63	171	191	-20
飯田市	27	25	2	32	31	1	-5	-6	1
旧木曾福島町	38	38		26	19	7	12	19	-7
上松町	31	23	8	39	38	1	-8	-15	7
南木曾町	446	430	16	351	297	54	95	133	-38
大桑村	122	117	5	60	60		62	57	5
その他	61	49	12	46	46		15	3	12

平成12年国勢調査

	流入人口 ①			流出人口 ②			① - ②		
	総数	15歳以上 就業者	15歳以上 通学者	総数	15歳以上 就業者	15歳以上 通学者	総数	15歳以上 就業者	15歳以上 通学者
長野県	591	564	27	635	518	117	-44	46	-90
飯田市	19	18	1	36	36	0	-17	-18	1
旧木曾福島町	10	10	0	36	22	14	-26	-12	-14
上松町	0	0	0	22	22	0	-22	-22	0
南木曾町	395	374	21	391	296	95	4	78	-74
大桑村	114	114	0	77	77	0	37	37	0
その他	53	48	5	73	65	8	-20	-17	-3

◆買い物

「長野県商圈調査」(長野県産業政策課)によれば、南木曾町、大桑村は県外流出率が高く、8割超の人が中津川地域で購買している。

一方、中津川地域から長野県への流出は、「岐阜県消費者購買動向調査(平成18年)」(岐阜県商業流通課)によれば買回品(衣類、趣味、家電製品など)1.4%、最寄品(食料品、雑貨など)0.0%となっており、長野県で購買する人は殆どみられない。

県外流出率(出典:長野県商圈調査)

	15年度	18年度
南木曾町	74.0%	89.1%
大桑村	79.6%	84.7%
旧山口村	89.1%	—

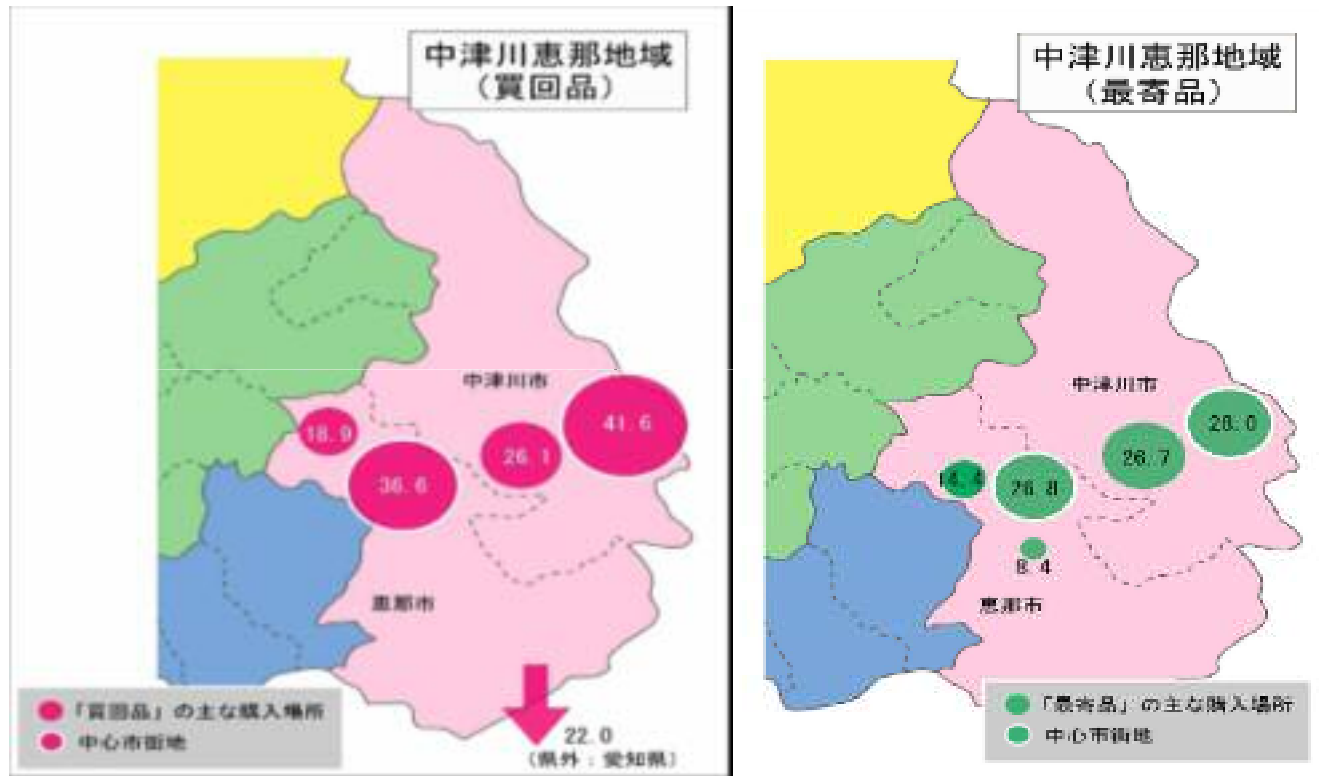
※長野県商圈調査～長野県内公立中学校2年生の家庭(1校1学級)を対象に、消費者の購買行動を調査し、広域的商圈の動向を時系列的に調査

長野県の商圈構造(出典:平成18年度長野県商圈調査)



(注)中心地は自治体の境界を越えて、17市町村圏以上を有する市町村を記載。ただし、人口が10万人以上の市町村を記載する。

中津川恵那地域の消費動向



出典:「岐阜県消費者購買動向調査(平成18年)」

◆国保坂下病院への通院状況

木曽地域には総合病院として県立木曽病院(木曽町)があるが、国保坂下病院(中津川市(坂下町))へ多くの南木曽町、大桑村の住民が通院している。

※国保坂下病院の移転新築(平成13年)に当たり、南木曽町、大桑村が建設費の一部を負担

外来患者の状況(国保坂下病院調べ)

	平成17年度		平成18年度	
	延患者数(人)	比率(%)	延患者数(人)	比率(%)
中津川市	85,222	65.5%	83,779	64.6%
内旧坂下町	43,242	33.2%	43,074	33.2%
南木曽町	30,649	23.6%	30,930	23.9%
大桑村	11,162	8.6%	11,590	8.9%
上松町	520	0.4%	577	0.4%
外来患者総数	130,090	100.0%	129,635	100.0%

◆生活者等の意見

➤南木曾町、大桑村、王滝村の住民(共に役場課長)

住民としては、**県境を意識して行動することはない**、南木曾町及び大桑村は「長野県商圈調査」が示すとおり、**中津川地域(恵那市を含む)を日常生活圏**としている

➤中津川市住民

日常生活を送る上で**木曾地域を意識していることはない**(中津川市役所職員)

➤経済活動

県境を意識することはない(中津川商工会議所)

◆南木曾町、大桑村、王滝村の住民(役場課長)の意見

- ▶生活するうえで県境を意識することはない(南木曾町、大桑村、王滝村)
- ▶買い物は殆ど中津川地域(恵那市含む)で行う(南木曾町、大桑村)
- ▶買い物は塩尻、伊那が多く、中津川市には行かない(王滝村)
- ▶南木曾町、大桑村での新聞の折り込み広告は中津川地域のものが多く、塩尻地域のものは少ない。王滝村は中津川地域、塩尻地域が半々
- ▶医療(病院)も殆どが中津川市(国保坂下病院)に通院しており、南木曾町として南木曾町と国保坂下病院間のバスを運行している(南木曾町)
- ▶南木曾町は住宅事情が悪く利便性が中津川市の方が良いため、子世代が中津川市に住居している例も多くある(南木曾町)
- ▶行政としても県を意識することはない(南木曾町、大桑村、王滝村)
- ▶県に限らず行政単位が違くと首長の考え方も違うため、基盤整備のあり方も行政界を跨いで統一的に行われることがない。木曾地域の幹線道路がR19となり、事故が起きると不通状態となる場合もある。通勤、買い物等で中津川市に出掛け、事故でR19が不通となると迂回できる道は整備状況が悪い。そういった意味で広域的に道路整備を考える必要もあるのではないか(南木曾町)

木曾地域等との連携した取組

基盤整備や観光振興などを中心とした地域振興のため、両県の県際に位置する市町村等が連携した取組を進めている。

◆総合的な地域振興

事業名(取り組み名称)	関係市町村等	目的・取組等	備考
木曾下伊那・中津川地域県際交流協議会	中津川市、上松町、南木曾町、王滝村、大桑村、清内路村、阿智村	県際地域の共通課題について情報交換を行うとともに、連携方法の検討、共同事業の推進など、当該地域の振興と活性化を図る。	平成7.11.14設立
県境近隣市町村議会議長会	中津川市、上松町、南木曾町、大桑村、	当面する交通体系の整備、地域振興等の推進とともに、議員相互の意思疎通を図る。	平成4.10.29設立
世界遺産暫定一覧記載資産に向けた取組	中津川市、南木曾町、岐阜県、長野県	「妻籠宿・馬籠宿と中山道」-『夜明け前』の世界一として世界遺産暫定一覧記載資産に向けて提案書を提出。今後の文化振興、観光振興などで共同歩調をとって取組を進める。	平成19年12月共同提案書を長野県より文化庁へ提出

◆基盤整備

事業名(取り組み名称)	関係市町村等	目的・取組等	備考
中津川南木曽県際道路改修促進協議会	中津川市、南木曽町	中津川南木曽間県際道路の改修を促進し、地域産業の振興並びに住民福祉の向上を図る。	昭和56.9月設立
県道王滝加子母付知線改良促進期成同盟会	中津川市、王滝村	木曽、美濃、飛騨を結ぶ、観光、生活及び経済道路として改良を促進し、改良済区間の県道昇格を目指す。	昭和62.9.29設立
東濃東部リニア停車駅誘致期成同盟会	中津川、恵那、飛騨地域の商工会議所・商工会、木曽地域の商工会	リニア中央新幹線の早期建設と東濃東部への停車駅設置の促進を図る。	平成3年設立

◆ 観 光

事業名(取り組み名称)	関係市町村等	目的・取組等	備考
木曽観光連盟	中津川市、木曽町、上松町、南木曽町、木祖村、王滝村、大桑村、塩尻市ほか木曽地域の事業者・組合等21団体	木曽一帯の観光事業の総合的発展を期し地域の産業文化経済の高揚と観光宣伝事業等の推進を図る。広域パンフの作成、名古屋圏域への観光PR、旅行雑誌社とのタイアップ宣伝などを実施。	平成17.2.13日加入(昭和39.11.20:山口村)
木曽観光宣伝協議会	東海旅客鉄道(株)、木曽観光連盟および加盟市町村、おんたけ交通(株)ほか木曽地域の事業者・組合等21団体	木曽地域に観光客を誘致するための、広域的な宣伝活動その他を行い、あわせて地域社会の発展に寄与することを目的とする。	平成17.2.13日加入(昭和63.4.11:山口村)
馬籠・妻籠連絡協議会	妻籠地区(南木曽町)、馬籠地区(中津川市馬籠地区)	妻籠と馬籠で連携をし、観光客等の誘致拡大を図る。馬籠・妻籠の共同パンフレットの作成、中山道完歩証明書を発行。	平成17.6.18日設立
古道木曽越峠と三十三観音研究会等による加子母地域と王滝村との交流事業	中津川市加子母地区、王滝村	県境の白巣峠を挟んだ地域の住民、王滝村の子ども育成会、古道木曽越峠と三十三観音研究会などによる交流事業(ウォーキング、キャンプなど)を実施。	平成15年～
坂下、落合、田立(南木曽町)の花馬保存会による協力	両地域の花馬保存会	両地域の花馬まつり開催に伴う花馬保存の協力(馬の貸し借り)	昭和49年～

◆木曾地域以外との連携・交流

事業名(取り組み名称)	関係市町村等	目的・取組等	備考
中央自動車道・恵那山トンネル等議長会連絡協議会	中津川市、恵那市、飯田市、駒ヶ根市、伊那市	高速交通体系整備と地域産業振興を一層促進するため、中央自動車道恵那山トンネル特別料金引き下げ等の実現を目指す。	平成12.10.2設立
中津川市・阿智村両観光協会観光交流協定締結	中津川市観光協会、阿智村観光協会	相互の観光推進と交流の促進を図る。	H19.4.29 協定締結
中津川ふるさとじまん祭 全国交流都市物産展	H18 阿智村ほか名古屋市、田辺市、幡豆町、対馬市、伊勢市が参加 H19 阿智村ほか田辺市、串本町、対馬市、伊勢市が参加	中津川ふるさとじまん祭の会場内で交流都市の物産展と観光PRを行い、市民間の交流を促進し、交流人口や観光客の誘致拡大を図る。	H18.10.27～29 H19.10.27～28
阿智村・園原地区の花桃まつりへの出展(4～5月)	中津川ぶらんどクリエイション	同イベントへ中津川市のお茶など特産品を販売 阿智村との共同開発により新商品を販売(七福の花桃饅頭)	平成17年～
東山道ビッグウオーク	日本ウオーキング協会主催 中津川市、阿智村(観光協会)協力	左記協会へ比叡山から宮城県多賀城までの東山道千キロウオーキングの誘致活動を実施。 H19.5.27～28に中津川から阿智村間をウオーキング	

広域連携の課題

県際地域の交流及び活性化を目的とした「木曾下伊那・中津川地域県際交流協議会」の活動状況から見た広域連携の課題

◆課題1 連携の明確な目的

「木曾下伊那・中津川地域県際交流協議会」の例

協議会の主な活動が、協議会総会において、道路整備を始めとする総花的な要望を岐阜県・長野県へ行うこととなっており、協議会本来の「県際地域の交流及び活性化」という**目的が見失われ、活動の検証が無いままに継続**されて来た。

協議会事務局の中津川市によれば、平成7年から活動を続けているが**協議会として大きな成果は無い**。

- 平成19年度、協議会の在り方を再検討(リセット)
「**広域観光の推進**」を優先課題として**交流連携を再スタート**

◆課題2 事業の推進主体

「木曾下伊那・中津川地域県際交流協議会」の例

○事務局は、設立当初より中津川市

構成団体が中津川市以外は全て町村であり、人口、産業、役所の組織規模等 から中津川市中心となり推進

協議会総会の各首長等の意見交換においても、中津川市を中心に進めて欲しい旨の発言も少なくなく、多くの事務が中津川市の負担となり進められている。

協議会の目的が県際地域の交流及び活性化と謳いながらも、推進の主体が中津川市であると言える。

地域の明確な目的として「広域観光」を持った「木曾下伊那・中津川地域県際交流協議会」としては、今後、中津川・木曾地域の交流及び活性化を進めていくために、現在の推進体制(事務局)が、中津川・木曾の地域としての推進体制と成り得るか否かが課題となってくると考えられる。

東濃地域で動き出した広域連携

伊那・木曽・東濃交流連携会議



名古屋ボストン美術館も

県東濃振興局は二十八日、東濃地方を中心に美術館、博物館、道の駅が連携する広域観光キャンペーン「ぎふ東濃アートツーリズム2008」事業の概要を発表した。三年目となる今回は、新たに名古屋市の名古屋

4月からの広域 観光キャンペーン

ボストン美術館など八施設が加わり、四十七施設、道の駅十駅が参加する。実施期間は四月一日から二〇〇九年三月三十一日まで。

同事業は〇六年度から展開し、〇七年度からは愛知、長野両県の施設も加わった。〇八年

新たに8施設

度は「食」と「温泉」に重点を置き、地元の食材や名湯をPRする。

訪れた施設数などに応じて応募できるマイレージ事業は、これまで入門、達人の二コースから変更。従来通りの入門、要件を緩和した達人のほか、全館訪問コースを設ける。各コース達成者にはそれぞれ先着で記念品が贈られる。(清水祐樹)

新たに加わるその他の施設は次の通り。

幸兵衛窯、ギャラリー陶林舎窯、ギャラリーウオイス(多治見市) 横井照子ひなげし美術館、日本大正村大正ロマン館(恵那市) かしも明治座(中津川市) 和紙のふるさと(愛知県豊田市)

アート2008
ぎふ東濃
ぎふ東濃
ぎふ東濃

- 1 実施期間 : 平成20年4月1日（火）～平成21年3月31日（火）
- 2 実施主体 : ぎふ東濃アートツーリズム推進連合
- 3 キャッチフレーズ : 「アートをめぐる旅にしよう」
- 4 参加施設



くるたん

アート施設（48施設）

多治見市

岐阜県現代陶芸美術館
 岐阜県陶磁資料館
 市之倉さかづき美術館
 こども陶器博物館 KIDS LAND
 美濃焼タイル展示室
 虎渓山永保寺

- 新** 幸兵衛窯
- 新** ギャラリー陶林春窯
- 新** ギャラリーヴォイス

瑞浪市

サイエンスワールド
 ミュージアム中仙道
 美濃歌舞伎博物館 相生座
 瑞浪市陶磁資料館
 瑞浪市化石博物館
 瑞浪市市之瀬廣太記念美術館
 瑞浪市地球回廊

土岐市

土岐市美濃陶磁歴史館
 織部の里公園
 土岐市美濃焼伝統産業会館
 本すりばち本館
 清山窯 駄知印判館

中津川市

青邨記念館
 苗木遠山史料館
 東山魁夷心の旅路館
 中山道歴史資料館
 子ども科学館
 鉦物博物館
 熊谷守一記念館
 藤村記念館
 ストーンミュージアム博石館
 間家大正の蔵

- 新** かしも明治座

恵那市

中山道広重美術館
 中山道ひし屋資料館
 岩村歴史資料館
 工芸の館 土佐屋
 日本大正村資料館

- 新** 日本大正村大正ロマン館
- 新** 横井照子 ひなげし美術館

可児市

ギャラリー萬葉

長野県南木曾町

妻籠宿本陣
 脇本陣奥谷
 南木曾町歴史資料館

愛知県常滑市

INAXライブミュージアム

愛知県長久手町

トヨタ博物館

愛知県名古屋市

- 新** 名古屋ポストン美術館



愛知県豊田市

- 新** 和紙のふるさと



長野県南木曾町

- 新** 福沢桃介記念館



道の駅（10駅）

土岐美濃焼街道 どんぶり会館
 志野・織部
 おばあちゃん市・山岡

そばの郷らっせいみさと
 上矢作ラ・フォーレ福寿の里
 きりら坂下

賤母
 花街道付知
 加子母

五木のやかた・かわうえ

5 協賛施設

温泉施設

クアリゾート湯舟沢（総合利用料金300円引、入浴のみ200円引）
付知峡倉屋温泉 おんぼいの湯（大人のみ入泉料100円引）
紅岩温泉（入泉料大人100円引、小人50円引）
くしはら温泉ささゆりの湯（入泉料100円引）
日帰り天然温泉天光の湯（大人のみ入泉料100円引）



商業施設

土岐プレミアム・アウトレット（割引クーポンシート提供）
多治見市PRセンター（陶磁器商品1,000円以上購入した場合、定価より30%割引）
セラミックパークMINO ショップ&ギャラリーMI-NO
（ショップで食品を除く商品10%割引）



新 美濃焼スクエア（商品30%割引）
新 岐阜中津川ちこり村（ちこりー袋プレゼント）

体験施設

瑞浪市陶磁器会館陶芸教室（作陶体験料10%割引）



レクリエーション施設

岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場
（キャラクターグッズプレゼント）

